令和8年度 熊本県小中学校長会 努力目標

スローガン

「多様な変化に対応し、よりよい社会の形成者を育成する校長会」

（前文）

予測困難な社会変化の中で、子供たちが自ら考え主体的に行動し、多様な他者と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の形成者となるための資質・能力を育成することが求められている。

校長は、学校経営の最高責任者として人間尊重の精神を基底に据え、確固たる教育理念の下、先見性と機動性に富む学校組織と経営体制を築いていく使命がある。また、魅力ある学校づくりに努め、たくましく生きる人間性豊かな子供の育成に尽力しなければならない。さらに、多様化する子供たちの学びや情報技術の急速な進歩など社会のニーズに対応しながらも、誰一人取り残すことのない教育を推進し、新しい時代の学校教育の実現に邁進していく必要がある。

ここに、熊本県小中学校長会の努力目標を次のように定める。

1 教育課程

校長は、地域の人的・物的資源を活用し、社会との連携及び協働による「社会に開かれた教育課程」を編成する。また、全ての子供たちの可能性を引き出すため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、その往還を通して「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげる学校づくりを推進する。

2 指導・育成

校長は、教職員の各キャリアステージに応じた研修やOJT等の指導体制を確立する。また、人事評価等を効果的に活用し、教職員一人一人の資質・能力の向上を図るとともに「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの実現に努める。

3 環境づくり

校長は、子供を中心に学校・家庭・地域・行政の五者において、目標を共有する。また、小中学校が適切に接続し、関係機関と連携・協働しながら地域全体で子供の成長を支えていく環境づくりに努める。

4 危機管理

校長は、危機管理マニュアルを随時最新の情報に更新して、事故や不祥事、問題行動等の未然防止対策を講じる。また、災害や感染症の発生等の緊急事態においては、迅速かつ適切に対応し、子供の安全・安心を確保する。さらに心のケアを図り、学び・進路の保障に努める。

5 教育課題

校長は、職場の心理的安全性を確保し、教職員それぞれの強みを生かした組織づくりとやりがいのある職場環境づくりを推進する。また、喫緊の課題である教員不足を解消するため、学校が魅力ある職場であることを広く発信し、行政等と連携して、優れた人材の確保に努める。